

若者WGの設置について

1 設置目的

脱炭素社会の実現に向けた課題に対し、若者の視線で検討し、県民会議への提案などを通じて、今後進むべき道やアクションの参考とするもの。

2 メンバー（イメージ）

- (1) 年齢 概ね20代
- (2) 人数 6名程度
- (3) 参加候補者

家庭部門から3名、事業者部門から3名を想定

部門	属性	人数	想定
家庭	学生	2名	・岩手大学(環境マネジメント学生委員会等)
	NPO法人	1名	・NPO法人環境パートナーシップいわて
事業者	企業	3名	・県内企業から3名

3 ワーキンググループでの検討テーマ（案）

- (1) 令和5年度の検討内容

①家庭部門、②事業者部門に係る現状分析、課題設定の上、県実行計画に掲げる目標達成に向けて、各部門に向けた提言をまとめる。

- (2) テーマ（例）

① 家庭部門

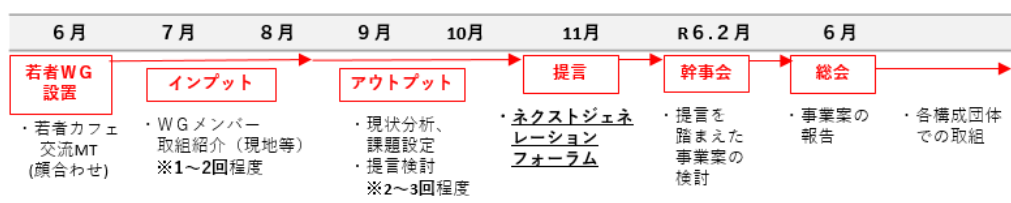
- ・ ZEB や ZEH の普及による住宅等の性能向上が人口動態に与える影響
(例)省エネ性能の低い住宅に住み続けることによる「暖房のために働く人生」で良いのか？

② 事業者部門

- ・ 企業イメージの向上が若者の就職や消費に与える影響
(例)持続可能な未来のために若者に選ばれる企業とは？

※ 検討テーマについてはメンバーの意見も踏まえて設定。

4 スケジュール（案）

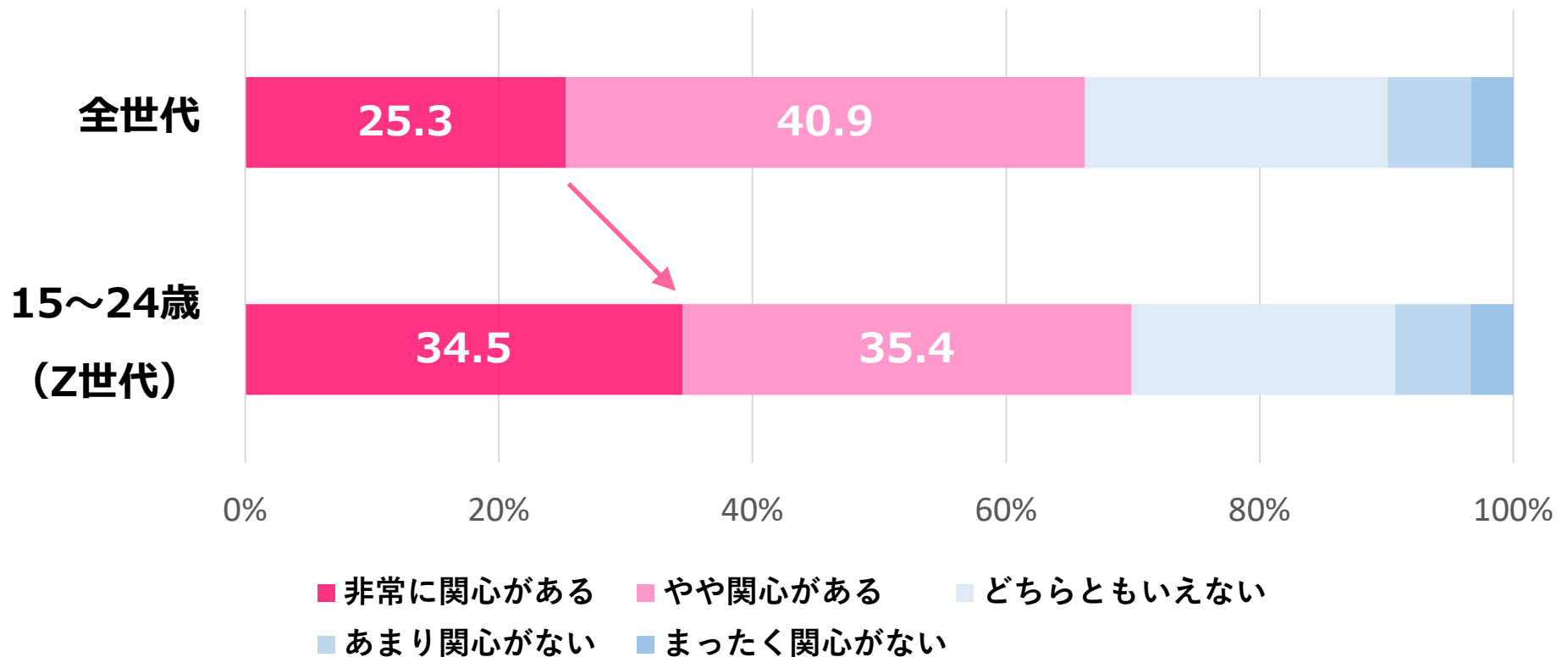


脱炭素に対する意識の変化について

現在の若者世代は、これまでの世代とは異なる価値観を有していると言われており、**脱炭素に対する関心度も大幅に向上**しつつある。

➡ **若者の社会減を食い止めるため、県内の企業や自治体はどのように行動すべきか？**

脱炭素に対する関心度



R3.10 博報堂「生活者の脱炭素意識&アクション調査」より